

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第四中学校

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の指導目標 小単元のねらい	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態
河童と蛙	2	場面と描写を結びつけて読む。	比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ	「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写をもとに捉えている。C(1)イ	すすんで表現の技法を理解するとともに，詩を読んで考えたことを伝えようとしている。
桜蝶	4	文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。	事象や行為，心情を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写（特に二つの文章の描かれ方の違い）をもとに捉えている。C(1)イ	粘り強く二つの文章を読み比べながら，場面と描写などを結びつけて内容を解釈し，学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
言葉の単位	1	文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。	単語の類別について理解するとともに，指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ		積極的に言葉の単位について理解するとともに，見通しをもってその役割を考えようとしている。

お気に入りの一品を紹介する	7	伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中からお気に入りの一品について話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A (1)ア	すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝え合おうとしている。
自分の脳を知っていますか	3	①文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。 ②文章の構成を捉え、要約に生かす。 ③「脳の奇妙な癖」を理解し、筆者の考えをまとめる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	①「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに筆者の考えを捉え、要旨を把握している。C (1)ア ②「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。C (1)ウ	粘り強く文章の要旨を把握し、学習課題にそって筆者の考えをまとめようとしている。
漢字の部首	1	漢字の部首についての理解を深める。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
意見文を書く	5	①意見と根拠の関係を理解する。 ②根拠をはっきりさせて、意見文を書く。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B (1)ウ	すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。

ベンチ	5	本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。C(1)イ	すすんで読書が考えを広げることに関わることを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。
日本語を音声	1	日本語の音の特徴を理解する。	音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア		積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し、学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。
文の成分	4	主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	①単語の類別や文の成分について理解している。(1)エ ②文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。2年(1)オ		すすんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類とはたらきを理解して、文の構成について理解を深めようとしている。
『夏の庭』一冊読み	5	描写に即して登場人物の心情を読み取り、作品の主題について自分の考えをもつ。	作品の描写に用いられた心情を表す語について調べ、語彙を豊かにしている。	①「読むこと」において、物語の展開に即して、登場人物の心情を読み取っている。 ②作品の主題について自分の考えをもち、ものの見方・考え方を広げている。	読書や意見交流を通して考えを広げ、学習の見通しをもって自分の考えを発表しようとしている。

読書感想文を書こう	5	読んだ本の魅力や、本から学んだことを整理し、構成を工夫して読書感想文を書く。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ	思いを効果的に伝える構成について粘り強く考え、繰り返し推敲している。
画数と活字の字体(書写)	1	画数と活字の字体についての理解を深める。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
筆遣いと字形「天地」(書写)	2	小学校で学習した楷書の基本点画の筆遣いと字形を理解して書くことができる。	基本点画の筆遣いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。		基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。
筆脈「いろは歌」(書写)	2	平仮名の筆遣いや筆脈、配列を理解して書くことができる。	平仮名の筆遣いや筆脈、配列を理解している。		平仮名の筆遣いや筆脈、配列を理解している。

楷書と行書の違い (書写)	1	楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴などを理解できる。	楷書と行書の特徴の違いから、行書の点画の特徴を理解している。		楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴を知ろうとしている。
材料を整理して意見文を書く	6	①資料を比較して共通点と相違点を見つける。 ②考えの中心を明確にして、段落構成を考える。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ	「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように複数の資料を比較するとともに、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。B(1)イ	すすんで情報の整理の仕方について理解し、学習課題にそって共通点や相違点を根拠にしながら考えたことを書こうとしている。
漢字の音と訓	1	漢字の音と訓についての理解を深める。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
全ては編集されている	3	①写真を見るとき視点を知り、写真の特徴を理解する。 ②写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ	「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。C(1)ウ	情報の扱い方についての理解を深め、目的に応じて適切に情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。

子供の権利	3	①専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ②論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。 ③自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめる。	事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ	粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
単語のいろいろ	4	自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。	単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ		すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。
森の魔法使いがいる	4	①必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 ②問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ③筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果（特に論理の構成）について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。C(1)エ	粘り強く文章の論理の展開について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。
竹取物語	4	①古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。 ②『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ	積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。

随筆を書く	6	身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B (1)エ	粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
熟語の構成	1	熟語の構成の基本的な型を知る。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
故事成語	3	①いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ②漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C (1)イ	すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
方言と共通語	1	方言と共通語の特徴について知る。	共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ		すすんで共通語と方言について調べ、学習の見通しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。

発言を結び付けて話し合う	4	①話題を意識して話し合い，発言を結びつける。 ②いろいろな意見を整理し，自分たちの感想や考えをまとめる。	原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	「話すこと・聞くこと」において，話題や展開を捉えながら話し合い，互いの発言を結びつけて考えをまとめている。A (1)オ	すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ，学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。
材楼を整理して案内文を書く	6	①集めた材料を分類・整理して，伝えたいことを明確にする。 ②目的や意図を意識して，案内文を書く。	比較や分類，関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め，それらを使っている。(2)イ	「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。B (1)ア	すすんで集めた情報を整理し，学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。
点画の連続と変化 「大木」 (書写)	2	点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	①点画の連続と形の変化の筆使いを理解している。 ②点画の連続と形の変化の筆使いを理解して書いている。		点画の連続と形の変化について，課題意識をもって取り組んでいる。
点画の連続と変化 「栄光」 (書写)	2	点画の連続と変化を理解して書くことができる。	①点や横画からの連続の筆使いを理解している。 ②点や横画からの連続の筆使いを理解して書いている。		点や横画からの連続の筆使いについて，課題意識をもって取り組んでいる。

点画の連続と省略 「平和」 (書写)	2	点画の連続と省略を理解して書くことができる。	①点画の連続と省略を理解している。 ②点画の連続と省略を理解して書いている。		点画の連続と省略の筆使いについて、課題意識をもって取り組んでいる。
学習を生かして書く(書写)	1	学習した行書の特徴を理解して硬筆で書くことができる。	①これまでに学習してきた行書の特徴を理解している。 ②これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書いている。		これまでに学習してきた行書の特徴を硬筆で確かめている。
書初め(書写)	4	文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。 ※(行書の特徴や配列を理解して書くことができる。)	楷書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。楷書と仮名の筆使いや字形を理解して書いている。 ※(行書の特徴や配列について理解している。行書の特徴や行の中心を理解して書いている。)		自己の課題をもって取り組んでいる。
宮沢賢治の童話3 編比べ読み	5	①語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ②場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。 ③作品を比較して読み、共通する主題や作者の人物像について自分の考えをもつ。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととともに、擬声語・擬態語への理解を深めることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ	粘り強く表現の効果について根拠を明確にして考えるとともに、作品を読んで考えたことを伝え合おうとしている。

ブックトークをしよう	7	①好きな本を選び、その魅力を伝える。 ②話し方を工夫し、聞き手を引き込むように語る。	事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。A (1)イ	粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
言葉がつなぐ世界遺産	4	①問いと答え、事実と意見の関係を捉える。 ②事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。 ③筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C (1)エ ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。C (1)オ	粘り強く理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。
少年の日の思い出	5	①語句の辞書的な意味と文脈での意味との関係に注意する。 ②場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。 ③語り手に着目して作品を読み、意見を交流するなどして、自分の考えを確かなものにする。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ	①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係（特に語りと構成について）、また心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C (1)イ ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。C (1)イ	粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、見通しをもって小説を読んで考えたことを伝えようとしている。
四季の詩	2	それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C (1)イ	すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。

読み手を意識して 報告文を書く	6	①要点を簡潔にまとめる。 ②読み手の立場に立って、文章を整える。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ	積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。
都道府県の漢字の 読み書き	1	都道府県の漢字について知り、読んだり書いたりすることができる。	都道府県名に用いられる漢字を知り、適切に読んだり書いたりしている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。